

# 通信 20号

…平和・協同・自然のひろば…

2011. 1. 1

らいてうの家 〒386-2201 長野県上田市真田町 長十の原1278  
TEL/FAX 0268-74-1385  
NPO 平塚らいてうの会 〒112-0002 東京都文京区小石川5-10-20 5F  
TEL/FAX 03-3818-8626

## 頌春

らいてうの家は、ただいま冬季休館中です。

**2011年4月29日(金) 『青鞥』創刊100周年、らいてう生誕125年、そして**

**「らいてうの家」開館5周年の年にふさわしい新企画とともにオープンする予定です。**

**4月29日にはオープンイベントもあります。どうぞお楽しみに！！**

### 中西悟堂研究会の皆さんとの交流会

昨年、10月13日(木)らいてうの家に、青森など遠方からの方も含む中西悟堂研究会の8人の皆さんをお迎えしました。らいてうの会からは、米田会長を始め7人が参加しました。中西悟堂さんの長女の小谷ハルノさんからは悟堂さんとらいてうさんの写真と、それらの写真の撮られた頃の悟堂さんの日記のコピーという大変に貴重な資料が送られました。また、悟堂さんとともに野鳥の会で活動なさった津戸英守さんからは、らいてうさんの夫の博史さんについて、◆野鳥のセンダイムシクイの鳴声を「ショウチュウイッパイグイー(焼酎一杯グイー)」と聞きなしたのは博史さんが初めて、それがみんなの間に広まった、◆野鳥の会の第1回探鳥会(日本で初めての探鳥会、富士山麓須走)の記念写真に博史さんが写っていないのは、もう一人の画家の人と二人写生に行っていたからという以前からの疑問の氷解する貴重なお話しを聞くことができました。

「らいてう」という名前の由来についての質問に、米田会長が、「高原の秋」の雷鳥になって太陽の周りを三度回ったというらいてうさんの記述を紹介されましたが、鶴の気持ちを理解するために飛行機をチャーターして飛んだ体験をお持ちの方からは、らいてうさんは、実際にやってみなくてもそれを体感できる素晴らしい人という感想も語られました。菅平の風力発電反対運動を、事務局長の木村さんから報告し自然保護運動のこれからについての意見交換もおこなわれ、らいてうさんと悟堂さんがにこにこ見守ってくださるような交流会となりました。

◎『『青鞥』百年』の今年、日本女子大学 成瀬記念館で、記念展示『『青鞥』と日本女子大学』が、1月18日から3月4日まで開催されます。詳細はチラシをご覧ください。◎『『青鞥』発祥の地文京区』でも『『青鞥』百年』にかかわる行事を、という声がありますが、男女共同参画月間にちなみ、6月25日(土)に文京区で米田会長の講演会がひらかれることになりました。詳しくは次号で。

## 秋のらいてうの森で (2010.11.14)

家の展示品の整理を終えて、らいてうの森を訪れました。と、なにやらごそごそと音がして、「熊がでたの！」とドッキリしたところに、美しい女性が二人薬草園の縁から現れました。お互いに、あなた達はどなた？ と顔を見合わせ自己紹介。彼女たちは、熊笹採集のプロで、ずっしりと重そうな袋を携えていました。らいてうの家でもおなじみの笹麵や熊笹のエキスの「サンクロン」などの原料の熊笹採集です。摘み時の熊笹を取ること

によって、山の自然が適正に保たれること、仕事の中で出会った熊のベッドの見事さ、山に入る人が山を荒らすことが多くなってお互いの挨拶も交わさなくなったことへの憂慮などを話されました。そして、熊笹がらいてうの森の苗木たちを鹿の食害などから守る可能性について意見交換をし、楽しく有意義な出会いを喜びました。

植樹したブナたちは、天候のせい去年のおなじ時期の鮮やかな黄葉はなく、栗色の葉で冬への準備をしていました。

## らいてうの家の雪見とスノーシューで冬の森を楽しむ集い

雪の森を歩くもよし、露天風呂からの雪見を楽しむもよし、それぞれの楽しみをみつけ冬の高原の魅力に浸りましょう。(申し込み後に詳しい案内を差し上げます)

日 時 2011年1月30日(日)午後1時～3時  
集 合 場 所 あずまや高原ホテル前 県外参加者 上田駅温泉口11時  
当日参加費 1,000円(貸スノーシュー代金、保険を含む)  
宿泊参加費 11,000円(上田駅までの交通費は各自負担、31日は自由行動)  
申し込み締め切り 2011年1月12日(水) 申し込み先 りいてうの会

### 閉館後の大掃除と反省会

例年通り、11月第1週で閉館し、11月8日と9日午前で大掃除を終え、午後反省会を行いました。今年度は強力な助っ人の山田ご夫妻が大阪堺市より駆けつけてくださったのをはじめ、真田・上田・東京と総勢29人と賑やかなこと。大梯子に乗ってのガラス拭きや、渡り通路の下、北側板壁などのペンキ塗り、物置の片付けなど大賑わいで働きました。午後の反省会では、\*ゴミの分別を徹底して欲しい(分別一覧を貼り出すことに) \*団体をもっと誘致するようみんなで努力しよう \*ライブや研修会、お茶会などに貸し出してはどうか(地元で担当してもよいとの声) \*『青鞥』百年記念で「碑」を建てたらどうか \*来年も案山子を作ると思っ心棒は物置にとってありますとの意見も。山田さんからは「らいてうの会のパワーに圧倒されました、これからもお手伝いをしたい」とありがたい申し出もありました。

### 平塚らいてうの会紀要 (A4判・各700円)

創刊号 平塚らいてうと平和思想など新資料より他  
第2号 「新しい女」を愛した「新しい男」  
第3号 『青鞥』の時代と信州

### 「らいてう」ニューヨークへ行く! (A5判・300円)

NPT再検討会議ニューヨーク行動参加の記録

### らいてうの家 四季ものがたり (A5判・300円)

「らいてうの家」オープン以来、地域の人びととの熱い交流、笑いあり涙ありのエピソードがいっぱい!

### 「石橋湛山の女性論

— 『青鞥』百年によせて

講師 浅川 保さん

(小日本主義論者石橋湛山の研究者)

日時 2011年2月26日(土) 午後1時～

場所 東京文化会館4階大会議室

(JR上野駅 下車1分)

会費 500円

NPO平塚らいてうの会

東京都文京区小石川5-10-20 5F TEL・FAX 03-3818-8626

ゆうちょ銀行 口座 00150-9-553046 NPO平塚らいてうの会